

北海道に貢献する意欲のある若者の海外挑戦を、官民一体で応援する「ほっかいどう未来チャレンジ基金」の旬な情報をお届けします！3月末時点で、第3期生4名が海外留学中です！※うち2名が新型コロナウイルスの影響で一時的に中止

「道銀SDGs私募債」を活用した「みらチャレ」への寄附

北海道銀行様の御協力により、2020年4月1日から「道銀SDGs私募債」の寄附先に「ほっかいどう未来チャレンジ基金」を追加していただくこととなりました。

私募債発行企業からの指定により、**発行額の0.2%**が「ほっかいどう未来チャレンジ基金」に寄附されます。

【寄附の流れ】



第4期生の募集を開始します ～令和2年度からの変更点～

ほっかいどう未来チャレンジ基金第4期生の募集を4月に行います。令和2年度から制度が変更されている点がありますので、お知らせします。募集の詳細についてはホームページをご覧ください。

学生留学コース

支援の対象となる分野の拡大

変更前

- 農林水産業
- 食・ものづくり産業
- 観光産業
- 環境・エネルギー産業

変更後

- 北海道の優位性を活かす分野
- 北海道の課題解決に資する分野
- その他北海道の活性化に資する分野

スポーツ、文化芸術、未来の匠コース

海外研修の対象が拡大

海外研修中に国際大会等に参加する場合、参加に要する費用も奨学金の対象となります。（大会参加のみの応募区分は廃止）

支援終了後、最長2年間の道外（海外）居住が可能

奨学金の支給（最長1年間）が修了した後は、道内に3年間居住することが条件となっていますが、令和2年度からは、**2年**を上限として一時的に道外（海外）に居住できることとしました。

※「北海道特派員」として、北海道の情報発信等に取り組むことが条件となります。

※現在、新型コロナウイルスの影響で海外への渡航が制限されております。応募に当たっては外務省の海外安全ホームページなどで最新の情報をご確認ください。

留学生たちの活動状況

学生留学コース

第3期生 石垣 のぞみさん 【留学先】ドイツ 【留学期間】2019年10月～2020年8月（11か月間）※現地で一時的に中止

本道農業の魅力を発信するため、持続可能な農業のあり方を考えるとともに、グリーンツーリズムを学ぶ

2月もファームインを経営する農家に滞在し、有機農業やファームインの経営について学びました。

農場から車で10分程のところにある元レストランの施設を第2のファームインにするための準備作業として、古い家具を運び出したり、古い絨毯を裁断して処分する作業を行いました。また、滞在しているシュロスベルグホフは森に囲まれていて、病気の木や倒木を切断し、薪ストーブで利用する家が多くあります。森からエネルギーを得て、それが森に還元される環境に優しいカーボンニュートラルの考え方がライフスタイルとして根づいていることを学びました。



第3期生 有働 篤人さん 【留学先】フィンランド 【留学期間】2019年10月～2020年5月（9か月間）※一時休止で帰国

札幌を世界のデジタル観光都市にするため、先進的なゲーム制作やソフトウェア開発を学ぶ

2月は「ゲームジャム」というゲームを短時間で制作するイベントの一つである「Global Game Jam (GGJ)」に参加しました。札幌にもGGJのサテライト会場があり、日本にいた頃から運営に関わっていたので、運営サイドとしての活動にも注目して参加しました。

GGJは、初めにテーマが発表され、その会場で出会った人とチームを組んでゲームを制作することがルールです。他のサテライト会場に参加しているクリエイター同士がチャットで連絡を取る仕組みがあり、この仕組みを利用して進捗状況や成果を共有することで、更なるクリエイター活動につながっています。



第3期生 海辺 菜々美さん 【留学先】カナダ、アメリカ 【留学期間】2019年9月～2020年3月（6か月間） ※帰国済
北海道の地域資源を活かした観光振興のため、アラスカでアドベンチャーツーリズムを学ぶ

2月は、フェアバンクス観光に関するヒアリング、パークビジネスセンターでのボランティアを行いました。
 また、観光ニーズ調査をWebアンケートの形で始めました。

観光に関するヒアリングでは、フェアバンクスの観光・文化・ビジネスセンターでお話を伺い、観光で大切なのは、現地の方との交流だと学びました。また、日本に行きたい人は沢山いるので、外国語のコンテンツをもっと増やすことが必要だとアドバイスをいただきました。観光ニーズ調査では、佐呂間と北海道への観光ニーズなどの調査を行い、これからの観光を考える一助として役立てたいと考えています。



スポーツコース

第3期生 向井原 洋平さん 【留学先】アメリカ 【留学期間】2019年7月～2020年7月（1年間）
アスレティックトレーナーに必要な最新スポーツ医学の知識と技術を学び、道スポーツ界に貢献

2月14日から大学野球の公式戦が始まり、投球障害の予防のため、チームの投手陣全員に対して、肩関節周囲筋群と腱板（肩甲上腕関節の安定に重要な4つの筋肉）のトレーニングを週2回必ず私のもとで行うよう指導しています。いくら予防に努めていても、予期せぬ障害が起こるので、受傷時は速やかに初期の処置を行い、チームドクターに連絡を取り、最短での診察が受けられるように手配しています。
 チームドクターは試合に帯同していませんが、スピード感を持って対処できるよう心がけています。



文化芸術コース

第3期生 清水 柚衣さん 【留学先】ハンガリー 【留学期間】2019年9月～2020年6月（10か月間）
ハンガリーでリスト音楽院のプログラムに参加し、演奏活動を通じ、北海道の音楽環境やレベル向上を目指す

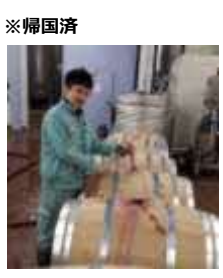
2月から新学期が始まり、週2回参加していたハンガリー語のレッスンを1回に減らし、ソルフェージュ（楽譜読み）のレッスンを受けることとしました。
 レッスンでは和声形成時の近親調（同じ音が多く含まれる調）への転調の方法の基礎を学び、筆記だけでなく、ピアノで弾く訓練も行っています。日本で使われている和声システムとは少し違いがありますが、少しずつ慣れてきています。
 新たな留学生も入ってきて、新しい刺激を受けることができています。



未来の匠コース

第3期生 鹿野 皓己さん 【留学先】ドイツ 【留学期間】2019年9月～2020年2月（6か月間） ※帰国済
北海道ブランドのワインを確立するため、ワイン醸造の最先端技術を学び、醸造技術の向上を目指す

2月は出来上がったワインのビン詰め作業と2019年シーズンの総括としてこちらのワイナリーの収穫状況を教えていただきました。
 ビン詰め作業は、ドイツの「KRONES」社製の大型ビン詰めラインを使用しており、スパークリングワイン以外は全て自社でビン詰めを行っています。ドイツでは、多少炭酸ガスが入っているワインが好まれ、ビン詰め時の無菌濾過の前にワインの種類によりCO2の注入か除去を行っています。
 日本のワイナリーと比較しながら教えていただくことが出来たので、非常に意味のある研修になりました。学び得たことを帰国後北海道に還元できるように努めていきます。



応援パートナーの皆様

(2020年3月現在・敬称略)

明くる元気にこのまちを 苫小牧信用金庫
 岩田地崎建設 HBA 有限会社 キョウゴク 札幌市 City of Sapporo
 Secoma 大地コンサルタント 株式会社 TAIYO GROUP 大和証券 Daiwa Securities MOROO
 北洋銀行 Takeda 株式会社 丸竹竹田組 株式会社 丸舟増田本店 なの花薬局 MEDICAL SYSTEM METABOLIC
 アイングループ Asahi アサヒビール AminoUp イオン北海道株式会社 ID INDETAIL NTT東日本 小樽医科大学 kanamoto 北菓楼
 有限会社 東林トネリコ CRIPTON Sound the future. 株式会社 丸竹竹田組 株式会社 丸舟増田本店 SAPPORO ジェイアイ北海道火災 JFE エンジンプロダクト
 TOINT 清水建設 株式会社 丸竹竹田組 株式会社 丸舟増田本店 大成建設 Daiwa House Group ロイトン札幌 Daiwa House Group 下丹波屋 Chocore Bar 千歳相互観光バス
 HITACHI Inspire the Next 北陸銀行 北海道銀行 Docon Nipponham 株式会社 丸舟増田本店 NORTH CREATE 株式会社 丸舟増田本店 留學ステーション
 HORI IKEUCHI GROUP 株式会社 丸舟増田本店 留學ステーション

有末 真哉 石川 諭史 遠藤 光二 小黒 敬三 坂詰 貴司 佐藤 友昭 (税理士法人FULL SUPPORT 代表社員税理士) 鈴木 伸明
 武田 孝 (拓殖工業(株)代表取締役会長) 船津 秀樹 その他匿名希望の個人・企業5者

北海道総合政策部政策局総合教育推進室
 TEL : 011-206-7380 (直通) FAX : 011-232-6313
 E-mail : mirai.jinzai@pref.hokkaido.lg.jp
 ホームページ: <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/sky/mirai-jinzai.htm>



公式 Facebook ページ
 みらチャレ

基金生のチャレンジ風景
 をお届けします。

